



# 四柱推命による職業適性診断 - 1

大橋のぞみ 1999/05/09

## 職業適性

### 好奇心型

関心のある分野が研究できる、学者や研究者が適職です。教師、本の著作、教師、塾講師など人に教える仕事も最適です。漫才やタレントなど才能と人気を生かす職業にも多いタイプです。組織管理や財務、または冷徹さが要求される競争社会でのビジネスは不得意。誰も手がけていないニュービジネスでは意外と成功することもあります。その場合でも組織が大きくなってくると、組織の管理という面では自分の手には負えなくなりますので、後継者に任せることです。

## 同じ能力の目標となる有名人

### 好奇心型

何事も好奇心旺盛で、おっちょこちょいですが憎まれない才能です。実力1本というよりも人気先行であとから実績が付いてくるタイプです。スポーツの分野では長島茂雄、原辰徳、松坂大輔など人気キャラクタがあげられます。ビジネスの分野では、特許関係、法律関係といった分野が多いのですが、競争社会でビジネスするというよりも、好奇心という才能を生かせる学者や芸能関係に多い能力です。

## 野球で適性を例えると

### 好奇心旺盛型

とにかくパフォーマンスが得意な野手の能力です。ピッチャーやキャッチャーはパフォーマンスは不要だからです。動作の1つ1つが絵になるタイプ。何をやっても、絵になります。トンネルなどのボンミスをやってもその悔しい表情がまた観客を喜ばせますし、三振などをしてもし訳ないという暗い表情はしないので、それがまた面白いのです。つまり芸能人感覚でパフォーマンスできる天性の才能があるのです。チームには必ず1人必要なタイプです。チーム全体がピリピリしすぎる場合などには、場を和やかにします。